

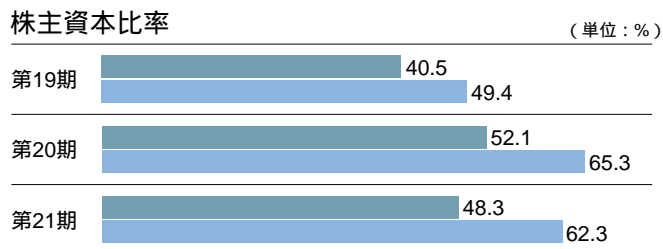
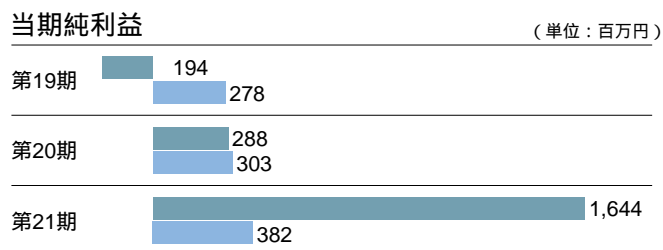
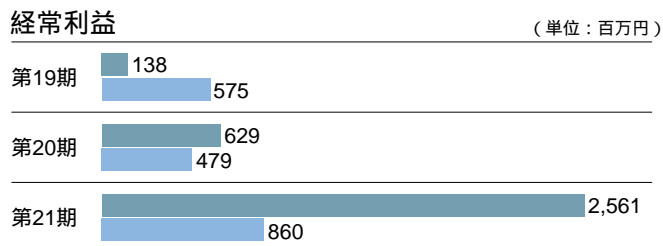
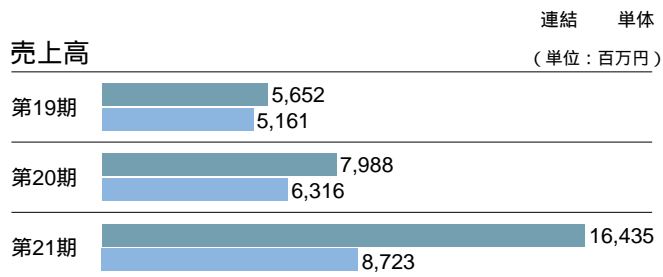
第21期 事業報告書

平成12年4月1日～平成13年3月31日

ferrotec

株式会社 フェロテック

財務ハイライト



売上高

当期の連結売上高は、前期比105.8%増の164億3,500万円となりました。国内では半導体業界の活発な設備投資に支えられ、海外では米国子会社が当期より加わったことにより、大幅な増収となりました。

経常利益

当期の連結経常利益は、前期比307.1%増の25億6,100万円となりました。収益面においては、中国工場への生産の移管を進め、コスト削減の効果が高まったことによります。

当期純利益

連結当期純利益は、前期比470.7%増の16億4,400万円となりました。売上高当期純利益率が10.0%となりましたが、これは会計基準の適用による評価損等の計上を行ったことによります。

株主資本比率

当期の連結株主資本比率は、48.3%となりました。

株主の皆様へ

株式会社フェローテックは、エレクトロニクス産業におけるコア技術を拡充し、競争力のある、安価で高品質な製品を世界に送りだすグローバルな製造業をめざしています。同時に、株主の皆様にとりましても、成長する期待と楽しみにあふれた企業でありつづけることを目標としています。

当期におきましては、世界的にコンピュータ等のエレクトロニクス産業と半導体・液晶産業の需給拡大が牽引となり、当企業集団の業績は好調なものでありました。

当期より米国フェローフルイディクス社を連結企業に加え、欧米市場を手中に納めたほか、半導体産業向け石英製品の伸び等が業績に貢献したものです。

また、日本国内の生産を中国工場に移管させ、生産コストのさらなる低減をはかるなど、当企業集団にとりまして大きな飛躍を実現いたしました。

今後の事業の柱になるべくコントラクト・マニュファクチャリング・サービス(CMS)の受注も増加しており、これらの事業資産を最大有効に活用し、世界に広がる企業集団の発展に尽くしていきたいと考えています。

末筆ながら、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役 山村 章

世界を舞台に
価値ある製品を供給



A handwritten signature in black ink, which appears to be 'Masahiko Yamamura' written in a stylized, cursive script.

フェローテックの戦略 今期の取り組み

今期を振り返って

今期は前期比、連結売上高が約2倍、連結当期純利益が約5倍となり、大幅な増収増益となりました。要因としては、半導体、液晶、携帯電話市場が堅調に伸びたことや、米国のフェローフルイディスク社買収による増収効果、さらには中国新工場の体制が整い、日本からの生産移管が進んだことによるコスト削減効果があげられます。

技術開発・事業提携

新製品磁性流体応用モーター(FFB)を開発



国際専門展示会 Diskcon 2001

当社の子会社フェローテックシンガポールは現地の政府研究機関DSI(Data Storage Institute)との共同開発により、毎分20,000回転の高速に対応するHDD(ハードディスクドライブ)用と同検査装置用に搭載が可能な、磁性流体動圧

軸受(Ferrofluid Film Bearing)を開発し、すでにプロトタイプを完成しました。

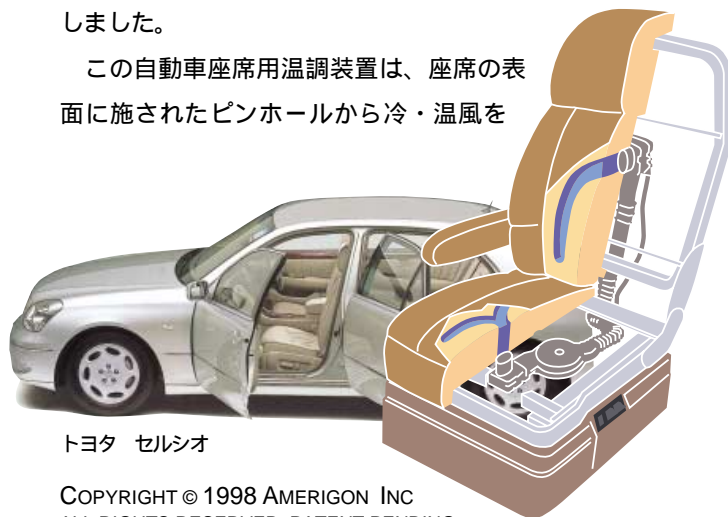
HDD以上に過酷な条件が要求される検査装置用に搭載され、性能評価と長期ランニングテストを終了しています。

4月に開催されたディスクドライブ・メディアの製造技術に関する国際専門展示会 Diskcon 2001には、日本における独占販売権を取得した次世代の保護膜生成装置とともに、出展しました。

米国企業アメリゴン・インコーポレーテッドとの業務提携

アメリゴン・インコーポレーテッドと自動車座席用温調装置クライメートコントロールシートシステム(CCS™)のアジア地域における製造業務の提携を行うことで合意しました。

この自動車座席用温調装置は、座席の表面に施されたピンホールから冷・温風を



トヨタ セルシオ

COPYRIGHT © 1998 AMERIGON INC
ALL RIGHTS RESERVED. PATENT PENDING.

放出し、快適な車内環境を提供するもので、アメリカン社ではすでに北米・欧州・アジアの自動車座席メーカーに供給しています。

当社は、これまでも主要部品であるサーモジュールを供給していましたが、今回の業務提携は、今後増大する需要に対応するため、CCS™ 製造拠点の増強を担うものです。

資本提携も同時に行うことで両社間の関係強化を図り、今後は本製品のアジア市場における販売拠点として、ジョイントベンチャーの設立を視野に入れ、製造と販売の両面から本製品事業に本格参入する計画です。

CMS事業が本格化

コマツグループとの業務提携

フェローテックは、コマツおよびコマツの100%子会社である小松エレクトロニクスと、微小モジュールの生産を中心とする業務提携を平成13



サーモジュールと微小モジュール

年1月17日付けで締結しました。微小モジュールは、世界的な通信インフラの整備や波長多重伝送(WDM)による大容量伝送化の進展で、需要が急増しています。今後の需要増に應えるため、小松エレクトロニクスの委託を受け、今後、当社の中国子会社である杭

州大和精密部件有限公司にて微小モジュールの量産を行う予定です。

日本の製造業界においても他社へのアウトソーシングが進んでおり、微小モジュールにおいて世界のトップシェアを有する小松エレクトロニクスから生産業務を受託することで、今後さらなるCMS事業の拡大と、競争力優位性の向上が期待されます。

用語解説

コントラクト・マニュファクチャリング・サービス(CMS)

受託加工生産事業。様々な機械メーカーから生産を受注し、素材調達から精密加工、組立を行い、完成品を供給すること。

コストリーダーシップ戦略

生産拠点として中国工場が本格稼働

当社は、中国に進出してから10年を経過しており、現在、杭州市と上海市に3つの工場を展開しています。

この数年、中国への生産移管を急速に進めており、このことが原価低減に直結し、グループの収益性の向上に大きく貢献しています。



杭州市工場

中国展開にあたっては従業員に品質管理をはじめとする各種教育を徹底し、マネジメントも現地スタッフに任せています。また、実績と能力に応じて報酬が増えたり昇進できるインセンティブシステムを取り入れたことで、責任感とモチベーションの向上につなげています。5年後、10年後の当社中国工場の成長が楽しみです。

上海新工場建設

1995年5月に設立した上海工場は、生産拠点として順調に業績を伸ばしています。2000年現在、従業員数は250人、建物床面積は6,654m²となり、工場も拡大しています。



既存上海工場

今後急成長が見込まれる中国国内向けビジネスやCMS（受託生産）事業などによる事業拡大を見越し、現工場の隣に約30,000m²の土地を取得し、建物床面積で約20,000m²（2階建て）の新工場を建設中です。新工場には分工場で行っている機械の製造、組立工程を移し、さらなる効率化をはかる予定です。

解説

なぜ中国なのか？

人件費、物件費が安いことから、中国へ生産をシフトすること自体が原価率低下に直結します。また、労働者の質が以前と比べて向上していることも大きなポイントです。

中国は近年の改革開放政策に伴う経済成長により、政治的にも安定度が高まっています。さらに広大な土地を入手しやすいなどの利点から、工場建設に適した環境といえます。

投資単位引き下げ

当社は、幅広く多くの方からフェローテック株式を取得していただきたいと考え、平成13年8月より売買単位株を1,000株から100株に変更します。これにより、当社株式の流通が以前にも増して活発化することが期待されます。

来期の見通し

今期、コンピュータシール依存型から脱却したことにより、来期は半導体業界向けに製品を強化、さらに新分野を拡大します。今後本格化するCMS事業や、サーモジュール、石英材料などの新事業にも力を注ぎます。また、米国子会社における製造も中国に本格的に移管し、コスト面での優位性をさらに強化します。来期は、厳しい市場環境ながら一層の経営努力をいたします。

次世代保護膜生成装置

当社は、シンガポールのナノフィルム・テクノロジーズ・インターナショナルが特許を持つ次世代の保護膜生成装置の日本における独占販売権を取得しました。

ダイヤモンドに匹敵する硬度を持ち、従来のCVD(化学気相成長)方式に比べ約半分の3-4μ(1μは10億分の1)メートルの薄膜を生成できるもので、ハードディスク(HD)や精密加工部品的高速・高精密度化に対応します。

当社は近くナノフィルム社に資本参加するとともに、平成14年にも日本にコーティングサービスの合弁会社を設立する予定です。



株式会社胆沢通信がグループ入り

平成13年3月30日に株式会社胆沢通信の株を取得し、子会社としました。

株式会社胆沢通信はエレクトロニクス産業の要素技術を各種有しています。これらは当社の製品事業に加えCMS事業の柱になり得る技術であり、本事業を行う当社中国子会社との連携によるさらなる増益が期待できます。

エレクトロニクス産業における、情報通信事業・電子デバイス事業・ファインセラミックス事業・海外事業なども、当社グループの業容の拡大に貢献するものと期待されます。

フェローテックの技術は世界一

平成13年3月10日発売の「日本の技術は世界一 毎日新聞経済部 [編]」に当社の製品が掲載されています。

これは毎日新聞経済面の連載記事「日本の中の世界一」で紹介された先端企業96社の技術をまとめたもので、100%のシェアを誇る当社のコンピュータシールが世界一の技術として取り上げられています。是非ご覧ください。



新潮OH!文庫
「日本の技術は世界一
先端企業96社
毎日新聞経済部 [編]」
新潮社 486円(税別)

フェローテックの技術 製品紹介

サーモモジュール

サーモモジュールとは電流を流すことで温度差を生じる半導体冷熱素子で、対象物を暖めたり、冷やしたりすることができます。小型で軽量のため、エレクトロニクス、光通信、バイオテクノロジーなどの成長産業から、レジャー用品、冷蔵庫やDVD等の家電まで幅広い分野で採用されています。最近では高級車の温調シートへ搭載されるなど市場拡大が期待されています。



コンピュータシール

コンピュータの記憶装置であるハードディスクドライブ（HDD）のなかに、大切なデータを保護する防御装置として装着されているのがコンピュータシールです。

HDDのなかへモーター内部で発生する超微細なゴミやチリが侵入するのを防ぎ、静電気を外部へ逃がすアースの役割を担っています。

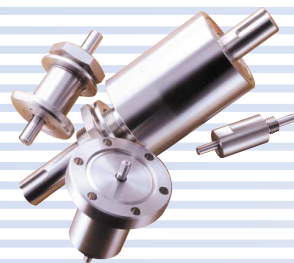
当社のコンピュータシールは、HDD全体の約40%に装着されており、コンピュータシールの市場シェア100%を占めています。



真空シール

半導体ウェーハや液晶基板の製造には、真空状態やガスで満たされた密封空間を必要とします。真空シールは、真空加工装置のなかを完璧な密閉状態にし、回転軸を通じて動力を伝えます。製造工程では微細なチリさえも大敵となるため、空気・蒸気・微粒子の侵入を防止する役割も担っています。

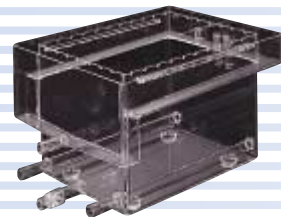
ゴムなどに比べ、耐酸性、耐高温に優れ、製品寿命も長く、用途が拡大しています。当社製品は高度な密封性能を誇り、磁性流体シールにおいてトップシェアを誇ります。



石英

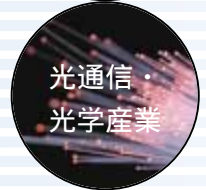
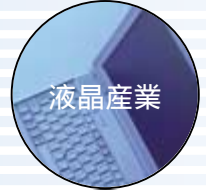
半導体ウェーハや発光ダイオードの製造には、高温作業に耐え、活性ガスとの化学変化をおこさない高純度の石英ガラス製品が必要です。シリコンウェーハの薄膜生成・搬送・洗浄などの工程でウェーハをホールドします。

当社ではGEクォーツ社より高純度の石英ガラスを購入し、半導体メーカー向けに加工・販売までを行っています。半導体製造工程に必要な、あらゆる石英製品をラインアップしています。





先端産業と
フェローテックを
結ぶもの。



財務諸表

連結貸借対照表

	第20期	第21期
	(平成12年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	9,142,491	11,501,432
現金及び預金	2,868,564	2,812,788
受取手形及び売掛金	3,464,288	5,138,205
たな卸資産	1,946,870	2,419,251
その他	903,411	1,191,423
貸倒引当金	40,643	60,237
固定資産	7,932,731	10,682,990
有形固定資産	3,439,841	4,941,585
建物及び構築物	1,095,439	2,026,837
機械装置及び運搬具	967,473	1,004,662
その他	1,376,928	1,910,085
無形固定資産	2,888,090	3,621,134
営業権	1,791,494	1,956,840
連結調整勘定	722,082	1,136,048
その他	374,513	528,245
投資その他の資産	1,604,798	2,120,269
投資有価証券	318,287	621,522
その他	1,306,020	1,576,405
貸倒引当金	19,509	77,658
繰延資産	9,232	7,200
為替換算調整勘定	262,085	-
資産合計	17,346,540	22,191,623

単位：千円

	第20期	第21期
	(平成12年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	4,161,024	7,217,074
支払手形及び買掛金	1,291,581	1,935,885
短期借入金	626,039	1,400,097
一年内返済予定長期借入金	1,070,126	1,109,860
その他	1,173,276	2,771,230
固定負債	4,137,449	3,856,268
社債	722,000	573,750
長期借入金	3,295,333	3,096,302
退職給与引当金	22,430	24,701
その他	97,686	161,514
負債合計	8,298,474	11,073,342
少数株主持分	3,605	398,648
資本の部		
資本金	3,692,849	3,751,391
資本準備金	4,280,161	4,339,584
連結剰余金	1,072,048	2,558,267
その他有価証券評価差額金	-	37,243
為替換算調整勘定	-	108,413
自己株式	598	780
資本合計	9,044,460	10,719,632
負債、少数株主持分及び資本合計	17,346,540	22,191,623

連結損益計算書

単位：千円

	第20期	第21期
	(自 平成11年4月1日 至 平成12年3月31日)	(自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日)
経常損益の部		
売上高	7,988,025	16,435,979
売上原価	4,725,906	9,350,680
売上総利益	3,262,119	7,085,299
販売費及び一般管理費	2,369,987	4,420,112
営業利益	892,131	2,665,186
営業外収益	194,454	459,955
営業外費用	457,341	563,552
経常利益	629,244	2,561,588
特別損益の部		
特別利益	2,512	315,476
特別損失	147,997	667,754
税金等調整前当期純利益	483,760	2,209,310
法人税、住民税及び事業税	231,728	817,540
過年度法人税戻入額	42,100	-
法人税等調整額	10,186	262,036
少数株主利益	4,164	9,666
当期純利益	288,110	1,644,139

連結貸借対照表

金融商品会計

当期から新会計制度を適用したことにより、保有する有価証券の保有目的を検討し、流動資産の有価証券を固定資産の投資有価証券へ振り替えいたしました。

建物及び構築物

主に中国工場の設備投資によるものです。

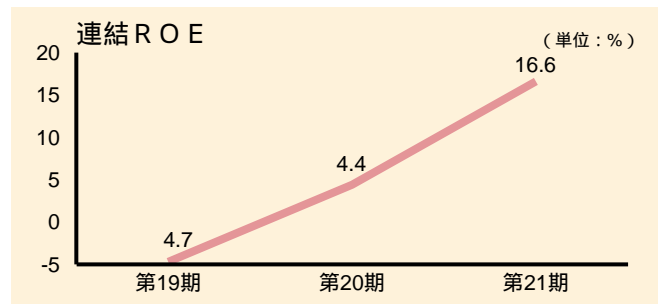
連結損益計算書

売上原価

中国工場への生産移管が進み、原価率が低下しました。

特別損失

主に金融商品会計基準変更に伴う損失処理と、たな卸資産の処分損により6億6,775万円を計上しました。



連結剰余金計算書

単位：千円

	第20期		第21期	
	(自 平成11年4月 1日 至 平成12年3月31日)		(自 平成12年4月 1日 至 平成13年3月31日)	
連結剰余金期首残高	798,717		1,072,048	
過年度税効果調整額	87,969	886,686	- 1,072,048	
連結剰余金減少高				
配当金	63,694		88,691	
役員賞与	12,000		15,000	
その他	27,053	102,748	54,228	157,920
当期純利益	288,110		1,644,139	
連結剰余金期末残高	1,072,048		2,558,267	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	第20期		第21期	
	(自 平成11年4月 1日 至 平成12年3月31日)		(自 平成12年4月 1日 至 平成13年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,210		1,943,809	
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,892,649		2,431,142	
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,338,733		242,271	
現金及び現金同等物に係る換算差額	123,086		63,080	
現金及び現金同等物の増加額	1,342,207		308,142	
現金及び現金同等物の期首残高	1,526,526		2,968,733	
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期首残高	100,000		-	
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期末残高	-		152,197	
現金及び現金同等物の期末残高	2,968,733		2,812,788	

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー

年間を通じて業績が好調であったことから、売上高・利益が大幅に伸びました。営業活動により獲得したキャッシュ・フローは19億4,380万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

コストリーダーシップ戦略による中国子会社関連の投資を積極化した結果、24億3,114万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

フェローフルイデクスコーポレーションの経営陣に対し、同社の株式の割り当てを行ったこと等により、2億4,227万円となりました。

解 説

キャッシュ・フロー計算書と損益計算書の違い

キャッシュ・フロー計算書は、一定期間の企業の活動をキャッシュの動きであらわしたものです。損益計算書とは異なり、会計ルールに左右されず客観的に企業の業績を把握できます。また、企業の資金繰りの状況が明確となります。

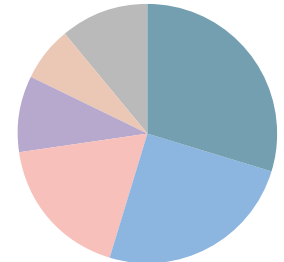
主要製品別情報（単体）

売上高					
	単位：百万円				
	97/3期	98/3期	99/3期	00/3期	01/3期
売上高合計	3,878	4,659	5,161	6,316	8,723
コンピュータシール	2,058	2,211	3,086	2,587	2,588
真空シール	1,271	1,095	715	1,254	2,055
サーモモジュール	293	410	304	410	591
ハードディスク関連	64	481	179	501	829
石英材料	-	-	665	1,058	1,572
その他	190	461	210	503	1,085

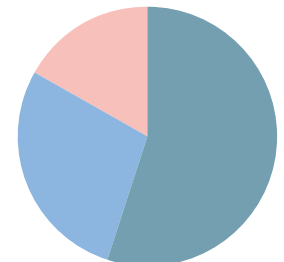
売上高増減比（対前年）					
	単位：%				
	97/3期	98/3期	99/3期	00/3期	01/3期
売上高合計	6.54	20.14	10.77	22.38	38.11
コンピュータシール	4.10	7.43	39.57	16.17	0.08
真空シール	4.15	13.85	34.70	86.57	63.49
サーモモジュール	36.92	39.93	25.61	34.43	44.15
ハードディスク関連	-	651.56	62.79	180.43	65.14
石英材料	-	-	-	64.81	43.52
その他	57.02	142.63	54.88	85.14	149.87

売上高構成比					
	単位：%				
	97/3期	98/3期	99/3期	00/3期	01/3期
売上高合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
コンピュータシール	53.1	47.5	59.8	41.0	29.7
真空シール	32.8	23.5	13.9	21.1	25.0
サーモモジュール	7.6	8.8	5.9	6.5	6.8
ハードディスク関連	1.6	10.3	3.5	7.9	9.5
石英材料	-	-	12.9	17.4	18.0
その他	4.9	9.9	4.0	6.1	11.0

売上構成比率（製品別）



売上構成比率（地域別）



単体貸借対照表

単位：千円

	第20期	第21期
	(平成12年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,004,312	6,974,741
現金及び預金	903,245	986,448
受取手形及び売掛金	2,454,303	3,302,523
その他	2,646,762	2,685,769
固定資産	8,747,303	9,081,870
有形固定資産	838,594	703,039
建物	374,957	356,462
その他	463,637	346,577
無形固定資産	25,245	20,145
投資その他の資産	7,883,463	8,358,685
関係会社株式・出資金	4,490,279	5,383,393
長期貸付金	2,222,537	1,402,466
その他	1,170,646	1,572,825
資産合計	14,751,615	16,056,612
負債の部		
流動負債	2,381,636	4,194,887
支払手形及び買掛金	970,061	1,266,165
短期借入金	200,000	800,000
一年内返済予定長期借入金	895,108	774,124
その他	316,466	1,354,597
固定負債	2,731,688	1,861,464
長期借入金	2,441,468	1,769,744
その他	290,220	91,720
負債合計	5,113,324	6,056,351
資本の部		
資本金	3,692,849	3,751,391
資本準備金	4,280,161	4,339,584
利益準備金	44,147	54,247
その他の剰余金	1,621,132	1,892,880
(うち当期純利益)	303,046	382,539
その他有価証券評価差額金	-	37,843
資本合計	9,638,291	10,000,261
負債・資本合計	14,751,615	16,056,612

単体損益計算書

単位：千円

	第20期	第21期
	(自平成11年4月1日 至平成12年3月31日)	(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)
売上高	6,316,895	8,723,383
売上原価	4,239,904	6,215,318
売上総利益	2,076,990	2,508,064
販売費及び一般管理費	1,756,533	1,820,476
営業利益	320,457	687,587
営業外収益	494,043	372,348
営業外費用	335,019	199,367
経常利益	479,482	860,568
特別利益	2,051	96,218
特別損失	86,625	365,240
税引前当期純利益	394,908	591,546
法人税、住民税及び事業税	127,813	322,533
過年度法人税等戻入額	42,100	-
法人税等調整額	6,148	113,526
当期純利益	303,046	382,539
前期繰越利益	634,948	705,042
過年度税効果調整額	71,320	-
税効果会計適用に伴う		
特別償却準備金取崩高	4,927	-
当期末処分利益	1,014,243	1,087,581

利益処分

単位：千円

	第20期	第21期
当期末処分利益	1,014,243	1,087,581
特別償却準備金取崩額	1,590	1,452
計	1,015,833	1,089,034
これを次のとおり処分いたします。		
利益準備金	10,100	15,900
株主配当金	88,691	128,619
取締役賞与金	12,000	30,000
別途積立金	200,000	200,000
次期繰越利益	705,042	714,514

フェローテックデータ

会社概要

(平成13年3月31日現在)

商号	株式会社フェローテック
(英訳名)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	37億5,139万円
決算期	3月31日
従業員数	123名
事業所	本社 〒110-0015 東京都台東区東上野5-24-8 千葉テクニカルセンター 〒289-2131 千葉県八日市場市みどり平1-4

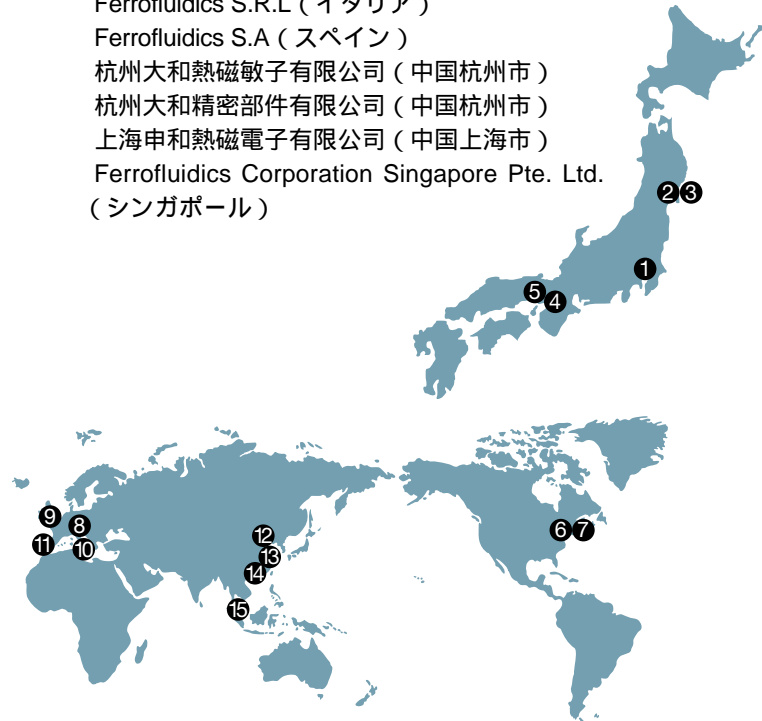
役員

(平成13年6月22日現在)

代表取締役社長	山 村 章
取締役	賀 賢 漢
取締役	福 井 徹
取締役	神 野 公 行
取締役	椿 勲 郎
取締役	鈴 木 史 郎
常勤監査役	松 井 宏 之
監査役	中 元 紘 一 郎
監査役	小 林 武 彦
監査役	兼 本 雅 文

グローバルネットワーク

- 株式会社 フェローテック (東京)
- 株式会社 フェローテック精密 (岩手)
- 株式会社 胆沢通信 (岩手)
- 株式会社 フェローテッククオーツ (大阪)
- 株式会社 森久製作所 (兵庫)
- Ferrotec America Corporation (アメリカ)
- Ferrofluidics Corporation (アメリカ)
- Ferrofluidics GmbH (ドイツ)
- Ferrofluidics Ltd (イギリス)
- Ferrofluidics S.R.L (イタリア)
- Ferrofluidics S.A (スペイン)
- 杭州大和熱磁敏子有限公司 (中国杭州市)
- 杭州大和精密部件有限公司 (中国杭州市)
- 上海申和熱磁電子有限公司 (中国上海市)
- Ferrofluidics Corporation Singapore Pte. Ltd. (シンガポール)



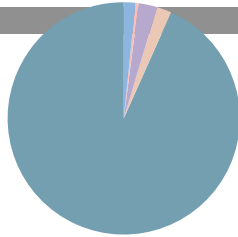
株式の状況

所有者別株式分布状況

(平成13年3月31日現在)

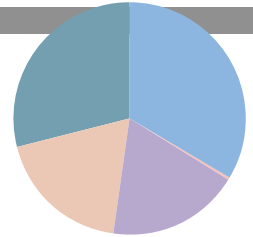
所有者別状況(株主数)

金融機関	26名	(1.61%)
証券会社	7名	(0.43%)
その他法人	42名	(2.60%)
外国法人等	33名	(2.04%)
個人その他	1,508名	(93.32%)
合計	1,616名	(100.00%)



所有者別状況(株式数)

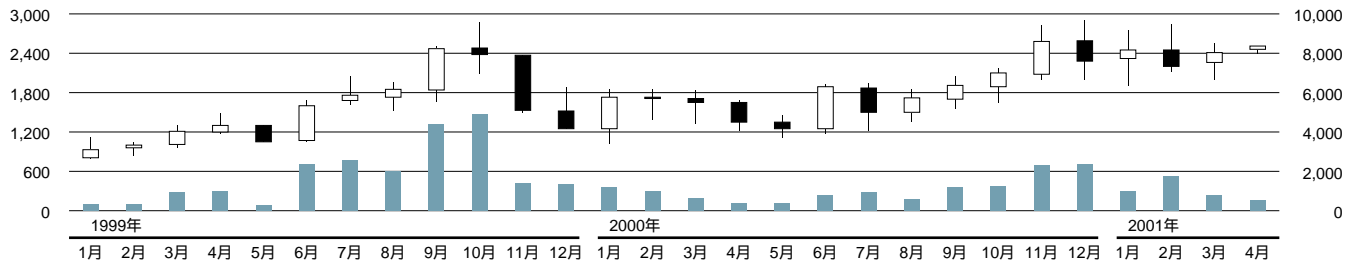
金融機関	4,310,000株	(33.51%)
証券会社	41,000株	(0.32%)
その他法人	2,368,000株	(18.41%)
外国法人等	2,419,000株	(18.81%)
個人その他	3,724,287株	(28.95%)
合計	12,862,287株	(100.00%)



株価 / 出来高の推移

株価(円)

出来高(千株)



大株主

(平成13年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
1 株式会社 クボタ	1,200,000	9.33%
2 山村 章	810,000	6.30%
3 ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	786,000	6.11%
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	750,000	5.83%
5 株式会社 小松製作所	600,000	4.66%
6 東洋信託銀行株式会社(信託勘定A口)	578,000	4.49%
7 ポストンセーフデポズイットピーエスディーティー トリーティークライアランスオムニバ	444,000	3.45%
8 バンクオブニューヨークヨーロッパリミテッド ルクセンブルグ131800	427,000	3.32%
9 株式会社 東京三菱銀行	420,000	3.27%
10 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 ・住友信託退給口	400,000	3.11%

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	株主確定 3月31日
利益配当金	3月31日(中間配当金 9月30日)
1 単位の株式の数	1,000株(平成13年8月1日より100株)
名義書換代理人	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物納付および電話照会先)	
	〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京(042)351-2211 大阪(06)6833-4700
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載紙	日本経済新聞